



豚熱発生を防止するため、 野生イノシシに経口ワクチンを散布します

野生イノシシに免疫をつけることで養豚場での豚熱感染を防ぐため、野生イノシシに対する経口ワクチンを散布します。本年6月から7月に実施した経口ワクチン散布の後期分です。

■経口ワクチン散布の概要

実施期間：1回目 令和3年11月中旬に散布、11月下旬に回収

2回目 令和3年12月中旬に散布、12月下旬に回収

場 所：新里地域、黒保根地域（40か所、1か所につき20個） 計1,600個

■散布後の対応

散布後に後日、ワクチンの回収を行い、イノシシの摂食状況を確認します。

■留意事項

1. 経口ワクチンはトウモロコシを主原料としたビスケットの中に封入したもので、国の食品安全委員会で安全と評価された成分や食品からできています。
2. 経口ワクチンを発見した場合は、速やかに下記の問い合わせ先までご一報願います。
3. 現場での取材は、本病のまん延を引き起こす恐れがあることから、厳に慎んでください。



【問い合わせ】

産業経済部 農林振興課

畜産・鳥獣対策担当

担当 岡部

TEL 0277-46-1111（内線572）